



啓明小だより

中野区立啓明小学校

校長 鈴木 栄子

〒165-0034 東京都中野区大和町 1-18-1

電話 03-3330-2325 FAX03-3330-2326

ホームページ

<http://nk-keimei-e.la.coocan.jp>

No. 548号 3月号 発行 令和2年3月2日

明日に向かって

校長 鈴木 栄子

木々の芽が膨らみ、チューリップが咲き始め春を告げています。子供たちがそれぞれ進級・進学に向けて大きく羽ばたく季節がやってきました。進級・進学へあと1ヶ月となった今、新型コロナウイルスの感染が全世界で大きな問題となり、とうとう、学校の通常の運営が困難な事態に突入しました。「想定外」という数々の災害が私たちの生活に襲いかかることが続いておりますが、今は新型肺炎から身を守り、子供たち、ご家族の皆様の健康被害防止のため、保護者・地域の皆様と学校が一丸となって目に見えないウイルスと戦う事が求められています。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

令和の時代になって、初めて過ごした冬の日々を振り返ってみました。1月学校公開日には、国立音楽大学の学生さんによる合唱コンサートを行いました。コンサートが終わった4校時に、全ての学年で子供たちがお礼のお手紙を書きました。どの手紙からも、耳を澄まして歌声を聴き、体育館に響く美しい歌声が子供たちの心の琴線に触れていることが感じられて、とても感動しました。「私は音が苦手です。音がとても大きく聞こえて耳につきさります。合唱団の皆さんに会ったとき、(中略)私は生まれて初めてこんなに楽しくなれました。(中略)合唱団のみなさんに会ってから音のおもしろさ、楽しさが感じられるようになりました。」「今日の合唱を聴いてみると、『ソプラノ・アルトで分かれて歌う』のではなく、『ソプラノ・アルトで合わせて歌う』ことで、一つのきれいな曲ができるのだと思いました。」ここに、二人の子供の手紙からその一部を紹介させていただきました。全ての子供たちの手紙が、その子なりの感じ方で音楽を聴き取り、感動にあふれたものでした。多くの子供たちが「また来年も来てください」と、素直な気持ちを学生の皆様に伝えていました。子供たちの心に響くコンサートを、多くの保護者・地域の皆様とともに鑑賞できたことに、感謝します。

2月学校公開日には、ことぶき大和会の皆様がご来校くださり1年生生活科「昔遊び」を楽しませてくださいました。コマ、けん玉、おてだま、あやとりに、子供たちは時の経つのも忘れて夢中に遊んでいました。6年生は、保護者の皆様とともに家庭科「親子でソーイング」を楽しみました。ミシンや手縫いで、温かで静かな会話の中から雑巾が次々と出来上がっていく様子は何ともほのぼのとしていました。

さて、まもなく迎える新年度は、新学習指導要領全面実施となります。同時に、厚生労働省からは、働き方改革の推進による労働時間是正が求められています。そこに襲いかかってきた新型コロナウイルス。学校では、ウイルスへの対策、子供たちの安全で安心・健康を第一義に考え、本年度を締めくくり、新しい年度を迎える準備を進めます。万物に生きる力がみなぎる暖かな春、冬の寒さに耐えた芝生のように強い意志をもって子供たちがしっかりと学び、元気よく遊ぶ姿が一日も早く学校に戻ってくることを祈ってやみません。

ウイルスとの戦いは続きます。この一年間、様々な場面でご協力賜りました保護者・地域の皆様に心から感謝申し上げ、非常事態の今を乗り越えて参ります。今後ともご支援いただきますよう、お願い申し上げます。